

第7期東京芸術文化評議会 文化プログラム推進部会での主な議論

第7期は、令和元年度と2年度に2回ずつ計4回開催（令和2年度はオンライン開催）

スペシャル13を中心としたTTF事業展開について

- 企画公募についてTokyo Tokyo FESTIVALの目玉事業であることをわかりやすく打ち出すため、覚えやすく、特別感や期待感が表現できるネーミングを検討（後日知事が「スペシャル13」に決定）
- 東京2020大会の延期後、都財政の厳しい現状や大会の簡素化方針から、スペシャル13の全企画も当初の予算内で調整すること、また、事業の再開に当たっては、感染症対策を徹底するとともに、必要に応じて、規模の縮小やオンライン配信の導入など内容を変更していくこと等を報告

ブランディングプロモーションについて

- 社会状況に応じた、効果的なプロモーションの在り方について議論
 - ・ 幅広い都民・国民を基本に、東京・日本の芸術文化に関心のある外国人を想定し、オンラインを中心にプロモーションを展開
 - ・ 各プログラムのPRを通じて、TTFの基本的な考え方を伝えるとともに、大会終了後は実績を踏まえ、成果を発信



新ポスター